

ESRI政策フォーラム
「地域における賃金の持続的な上昇に向けて」
パネルディスカッション

～最低賃金の引き上げおよび賃金について～

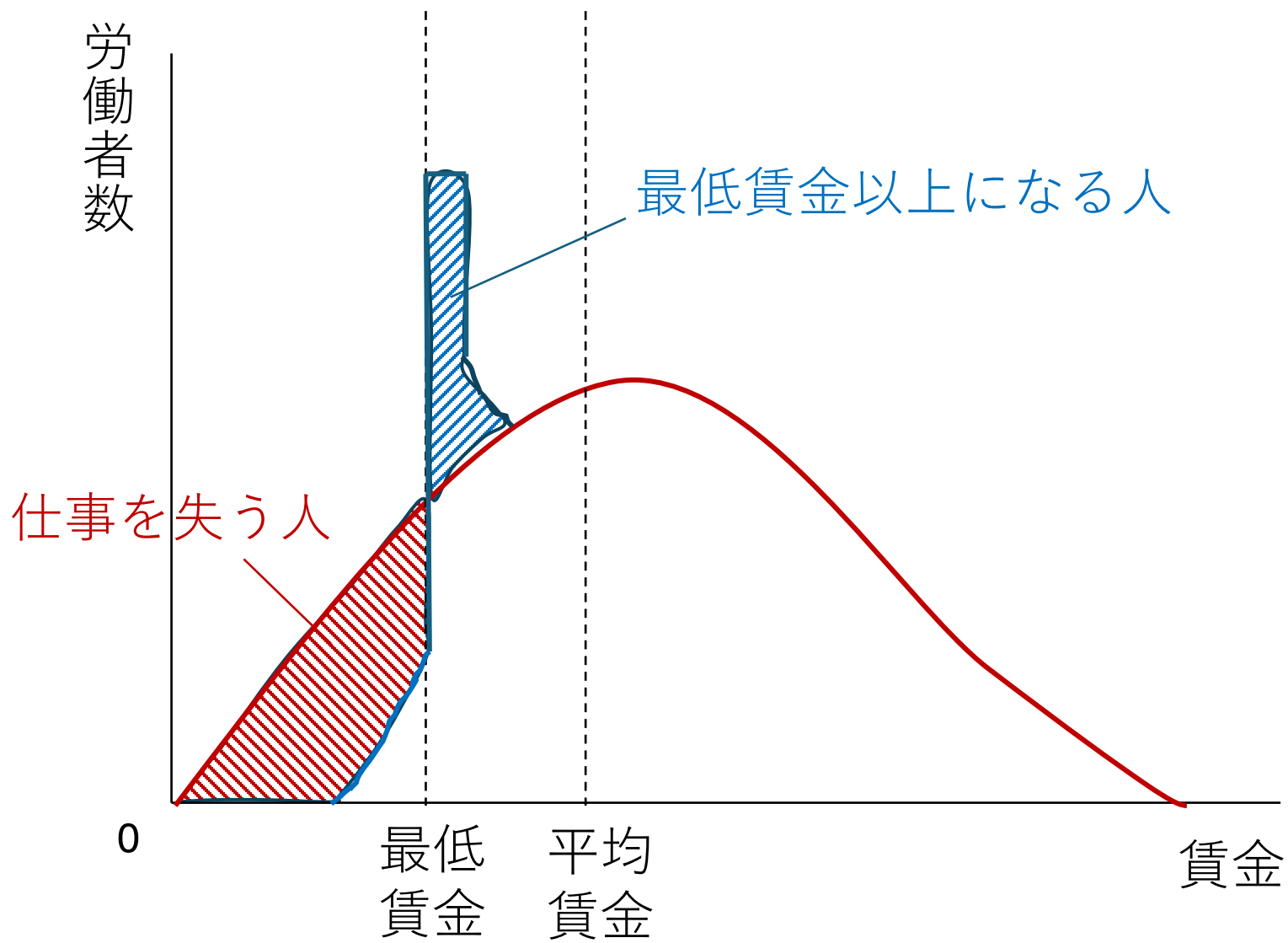
令和7年6月25日（水） 15：30～17：00

慶應義塾大学商学部

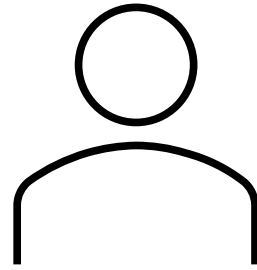
風神佐知子

最低賃金引上げが与える影響

- 賃金に与える影響、雇用量に与える影響、その程度
- 市場は競争的か？独占的か？
 - 競争的な場合→雇用量の減少（賃金＝価値限界生産力、or生産性の向上）
 - 独占的な場合→雇用量増加、賃金上昇
- 日本の実態



賃金1000



追加的に1000
産出

賃金1000 > 価値限界生産力800

賃金1000 < 価値限界生産力1200

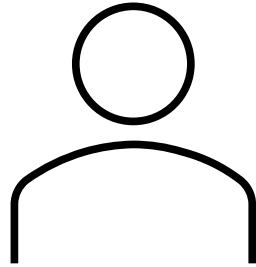
賃金1000 = 価値限界生産力1000



賃金1200に！

賃金1200 > 価値限界生産力1000

- 競争的な場合の影響の程度：最低賃金の水準、企業の賃金に対する反応、個人の反応



賃金 < 価値限界生産力

- 競争市場よりも、少ない雇用量、低い賃金

最低賃金の導入

- 雇用量増加、賃金上昇
- 寡占賃金を上回る最賃は雇用を維持・増加、大幅な引き上げは雇用減との予測分析も。

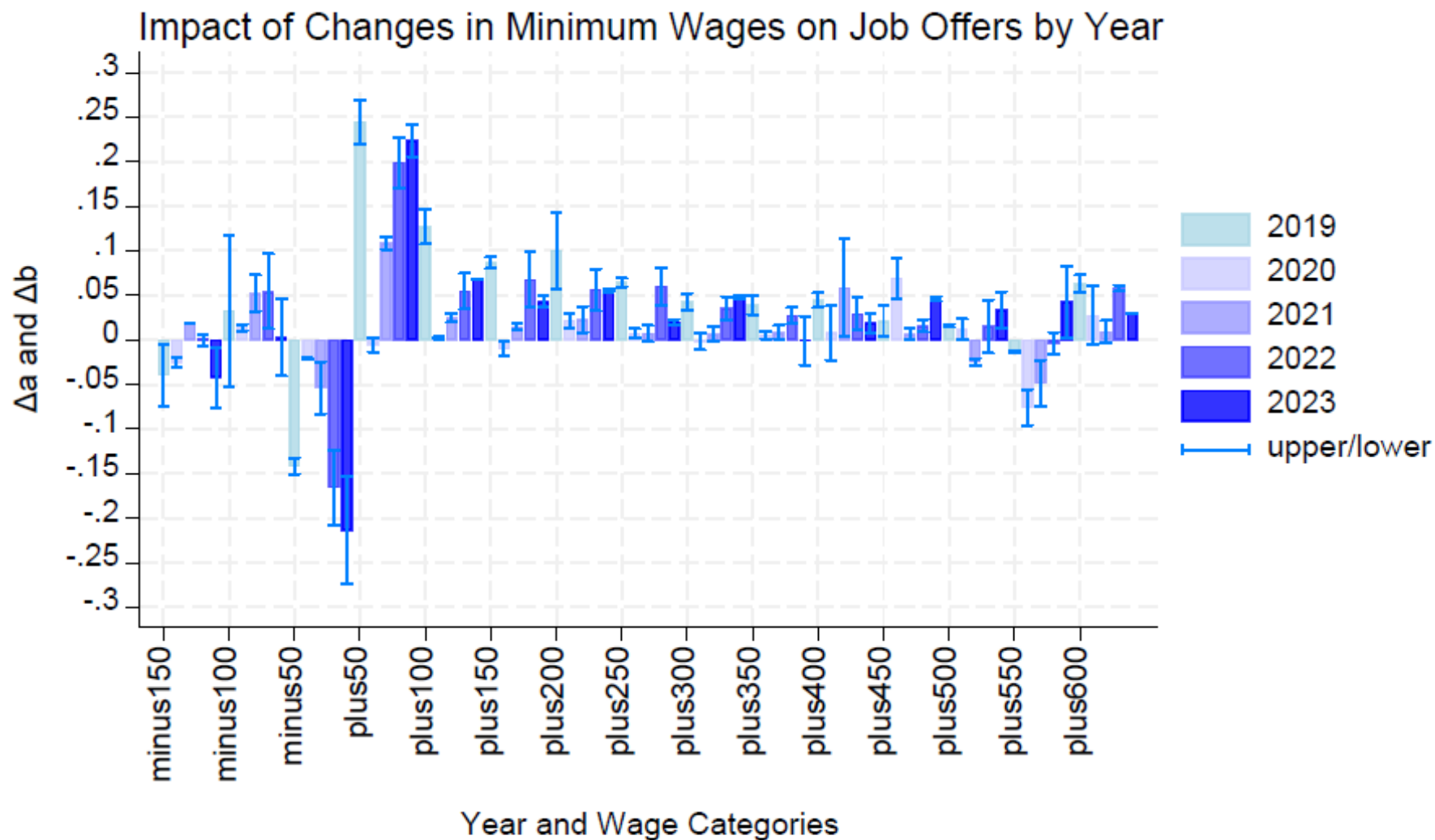


Figure 6: Impact of the Change in Minimum Wage on Job Offers by Year

出所：S. Kazekami and M. Abe, 2025. Effects of Minimum Wage Changes on Labor Demand

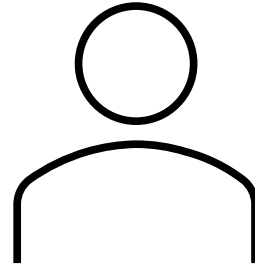
誰に影響があるのか？

- 相対賃金：相対的に賃金が下がる／影響なし
- 近傍は“誰”なのか？

誰が負担するのか？

- 価格転嫁＝消費者が負担
 - 他の地域、海外でも生産可能→価格を上げると販売量は減少
 - 別の場所では生産不可
- 雇用を減らす＝労働者が負担
 - 解雇、機械との代替、（最低賃金の影響を受けない働き方への転換、企業の市場からの撤退）

賃金1000



追加的に1000
産出

賃金1000 = 価値限界生産力1000

賃金1200 = 価値限界生産力1200